



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 古河機械金属株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5715 URL <https://www.furukawakk.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中戸川 稔  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 田近 強 TEL 03-6636-9502  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	142,034	△9.5	6,668	10.2	8,205	19.1	14,763	228.4
2023年3月期第3四半期	156,954	6.3	6,050	5.7	6,887	2.9	4,495	1.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 19,378百万円 (170.3%) 2023年3月期第3四半期 7,169百万円 (25.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	392.63	—
2023年3月期第3四半期	116.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	252,914	121,875	46.9
2023年3月期	232,745	106,050	44.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 118,542百万円 2023年3月期 102,946百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	189,300	△11.6	9,000	△0.4	10,500	12.3	16,500	165.6	443.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	40,445,568株	2023年3月期	40,445,568株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	3,255,564株	2023年3月期	2,329,563株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	37,601,601株	2023年3月期3Q	38,430,623株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
2024年3月期 第3四半期決算短信 補足資料 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

## (1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高 (百万円)	156,954	142,034	△14,919
営業利益 (百万円)	6,050	6,668	618
経常利益 (百万円)	6,887	8,205	1,317
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	4,495	14,763	10,267

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から同年12月31日まで）の我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復しました。自動車やサービス業などでコロナ禍のリバウンド需要が業績を押し上げるなど、企業収益は全体として高水準が続いています。一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外経済の減速が我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

このような経済環境の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,420億34百万円（対前年同期比149億19百万円減）、営業利益は、66億68百万円（対前年同期比6億18百万円増）となりました。産業機械部門は減収減益、ロックドリル部門は増収増益、ユニック部門は増収減益となり、機械事業全体では、増収増益となりました。素材事業では、金属部門は減収増益、電子部門は減収減益、化成品部門は増収増益となり、全体では減収増益となりました。また、不動産事業は減収減益となりました。営業外収益に受取配当金8億98百万円ほかを計上した結果、経常利益は、82億5百万円（対前年同期比13億17百万円増）となりました。特別利益に、古河大阪ビルの跡地その他の土地の一部を共有持分として譲渡したことを主とした、固定資産売却益134億27百万円ほかを計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、147億63百万円（対前年同期比102億67百万円増）となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

## 〔産業機械〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高 (百万円)	11,728	10,015	△1,713
営業利益 (百万円)	363	△286	△650

産業機械部門の売上高は、100億15百万円（対前年同期比17億13百万円減）、営業損失は、2億86百万円（前年同期は3億63百万円の利益）となりました。当第3四半期連結会計期間末の受注残高は、橋梁において八王子南バイパス大船寺田高架橋などの受注があり、前連結会計年度末に比べ増加しました。売上高については、マテリアル機械は、プラント工場の販売減により減収となり、ポンプ設備についても減収となりました。コンストラクタ事業は、橋梁の清水IC第3高架橋鋼上部工事や東海環状大安高架橋などについて、出来高に対応した売上高を計上しましたが、大型プロジェクト案件の工事減により、減収となりました。営業損益については、マテリアル機械においてプラント工場の遅延等に伴う追加原価の発生があり、損失計上となりました。

## 〔ロックドリル〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	27,780	29,995	2,214
営業利益(百万円)	2,019	3,258	1,239

ロックドリル部門の売上高は、299億95百万円(対前年同期比22億14百万円増)、営業利益は、32億58百万円(対前年同期比12億39百万円増)となりました。国内については、油圧クローラドリル本体の出荷増および整備事業の受注増により、増収となりました。海外については、油圧ブレーカは、北米への出荷が増加し、油圧クローラドリルは、引き続き需要が旺盛な北米に加えアフリカへの出荷が増加した結果、円安による増収効果もあり、増収となりました。

## 〔ユニック〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	20,843	20,985	141
営業利益(百万円)	1,112	962	△149

ユニック部門の売上高は、209億85百万円(対前年同期比1億41百万円増)、営業利益は、9億62百万円(対前年同期比1億49百万円減)となりました。国内については、トラックの生産遅延が回復傾向となり、前年同期と比べトラック供給台数が増加したことにより、ユニッククレーンの出荷が増加し、増収となりましたが、鋼材など原材料価格の高騰等に対して、値上げ前の製品の出荷が続いた結果、原価率が悪化し、減益となりました。海外については、中国、東南アジア、欧州などへの出荷が減少し、減収となりました。

## 《機械事業合計》

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	60,352	60,995	642
営業利益(百万円)	3,495	3,934	439

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械事業の合計売上高は、609億95百万円(対前年同期比6億42百万円増)、営業利益は、39億34百万円(対前年同期比4億39百万円増)となりました。

## 〔金 属〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高 (百万円)	80,753	64,501	△16,252
営業利益 (百万円)	1,164	1,845	681

金属部門の売上高は、645億1百万円（対前年同期比162億52百万円減）、営業利益は、18億45百万円（対前年同期比6億81百万円増）となりました。電気銅の海外相場は、8,966米ドル/トンで始まり、4月半ばには9,000米ドル/トン台まで上昇したものの、米国の追加利上げ観測と、中国需要低迷の兆しにより、6月末には8,210米ドル/トンとなりました。その後は、中国の景気刺激策への期待感と、需要の不透明感を主因として上げ下げを繰り返していましたが、パナマ銅鉱山での操業停止に起因する供給不安材料等も出て、期末には8,476米ドル/トンとなりました。2023年3月末をもって小名浜製錬株式会社との委託製錬契約を終了したことにより、電気銅の生産および販売数量が減少し、減収となりましたが、金属価格変動による利益計上があったほか、委託製錬収支の改善により、増益となりました。

## 〔電 子〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高 (百万円)	5,287	5,259	△28
営業利益 (百万円)	430	264	△166

電子部門の売上高は、52億59百万円（対前年同期比28百万円減）、営業利益は、2億64百万円（対前年同期比1億66百万円減）となりました。高純度金属元素は、国内外ともに主要用途である化合物半導体用向け市場サイクルが底を脱した状況にとどまり、また、窒化アルミセラミックスは、半導体製造装置向け部品の需要低迷などにより、減収となりました。コイルは、半導体不足が解消された自動車生産の回復により、増収となりました。

## 〔化成品〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高 (百万円)	6,396	6,858	462
営業利益 (百万円)	414	505	90

化成品部門の売上高は、68億58百万円（対前年同期比4億62百万円増）、営業利益は、5億5百万円（対前年同期比90百万円増）となりました。酸化銅は、銅価の上昇と価格改定などにより販売単価が上昇したものの、パソコン、スマートフォン向けに加え、クラウドサーバー基板向けの需要も減少したため、減収となりました。亜酸化銅は、主要用途である船底塗料の需要が回復したことに加え、銅価の上昇と価格改定などにより販売単価が上昇し、増収となりました。

## 《素材事業合計》

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高 (百万円)	92,437	76,618	△15,818
営業利益 (百万円)	2,009	2,615	606

金属、電子および化成品の素材事業の合計売上高は、766億18百万円（対前年同期比158億18百万円減）、営業利益は、26億15百万円（対前年同期比6億6百万円増）となりました。

## 〔不動産〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	1,581	1,376	△204
営業利益(百万円)	707	355	△352

不動産事業の売上高は、13億76百万円(対前年同期比2億4百万円減)、営業利益は、3億55百万円(対前年同期比3億52百万円減)となりました。主力ビルである室町古河三井ビルディング(商業施設名: COREDO室町2)は、商業施設の売上げに応じて発生する変動賃料が、コロナ禍前の水準まで回復しましたが、オフィスについては、事務所テナントの減床および賃料単価の低下により、減収となりました。

## 〔その他〕

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	対前年同期増△減
売上高(百万円)	2,583	3,043	460
営業利益(百万円)	△101	△177	△75

金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を行っています。売上高は、30億43百万円(対前年同期比4億60百万円増)、営業損失は、1億77百万円(対前年同期比75百万円の損失増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第3四半期連結会計期間末	対前連結会計年度末増△減
総資産(百万円)	232,745	252,914	20,168
負債(百万円)	126,695	131,039	4,344
(うち有利子負債 (百万円))	62,848	61,761	△1,087
純資産(百万円)	106,050	121,875	15,824
自己資本比率(%)	44.2	46.9	2.7

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、2,529億14百万円で、前連結会計年度末に比べ201億68百万円増加しました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が減少したこと、現金及び預金、原材料及び貯蔵品、上場株式の株価が上昇した投資有価証券、また、古河大阪ビルの跡地その他の土地の一部を共有持分として譲渡した代金を計上したことにより、投資その他の資産の「その他」に含まれる長期未収入金が増加したことによるものです。有利子負債は、617億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億87百万円減少しました。純資産は、1,218億75百万円で、前連結会計年度末に比べ158億24百万円増加しました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回(2023年11月9日)発表の業績予想との比較において、売上高および営業利益を下方修正しています。ロックドリル部門では、国内の出荷が堅調で増収増益となる見込みですが、産業機械部門では、マテリアル機械においてプラント工事の遅延等に伴い追加原価が発生したことにより、ユニック部門では、ユニッククレーンの出荷が予想を下回ること、および鋼材など原材料価格の高騰等の影響で原価率が悪化していることにより、減収減益となる見込みで、機械事業全体では、減収減益となる見込みです。金属部門では、第3四半期連結累計期間までの業績を主因として、増収増益となる見込みですが、電子部門では、半導体サイクルの回復の遅れにより、減収減益となる見込みで、素材事業全体では、増収減益となる見込みです。

なお、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表を据え置いています。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,606	17,814
受取手形、売掛金及び契約資産	35,502	28,626
商品及び製品	18,705	20,185
仕掛品	12,213	13,568
原材料及び貯蔵品	15,584	19,415
その他	4,318	6,000
貸倒引当金	△47	△48
流動資産合計	99,882	105,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,435	23,120
土地	53,910	51,747
その他（純額）	13,636	15,729
有形固定資産合計	90,981	90,597
無形固定資産	317	360
投資その他の資産		
投資有価証券	34,711	38,954
その他	7,622	18,236
貸倒引当金	△769	△796
投資その他の資産合計	41,563	56,394
固定資産合計	132,862	147,351
資産合計	232,745	252,914

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,397	15,821
電子記録債務	9,244	11,583
短期借入金	16,607	9,648
未払法人税等	1,711	2,026
引当金	202	202
その他	20,947	17,968
流動負債合計	63,111	57,252
固定負債		
社債	—	5,000
長期借入金	46,240	47,112
引当金	97	4
退職給付に係る負債	2,481	2,387
資産除去債務	228	232
その他	14,534	19,050
固定負債合計	63,583	73,787
負債合計	126,695	131,039
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
資本剰余金	2	2
利益剰余金	58,847	71,712
自己株式	△3,086	△4,707
株主資本合計	83,971	95,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,320	14,875
繰延ヘッジ損益	△77	305
土地再評価差額金	2,582	2,575
為替換算調整勘定	1,564	3,130
退職給付に係る調整累計額	2,584	2,439
その他の包括利益累計額合計	18,974	23,327
非支配株主持分	3,103	3,332
純資産合計	106,050	121,875
負債純資産合計	232,745	252,914

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)
売上高	156,954	142,034
売上原価	136,045	120,398
売上総利益	20,909	21,636
販売費及び一般管理費	14,859	14,967
営業利益	6,050	6,668
営業外収益		
受取配当金	784	898
為替差益	1,736	818
その他	597	1,144
営業外収益合計	3,118	2,861
営業外費用		
支払利息	379	376
休鉱山管理費	584	608
持分法による投資損失	786	—
その他	530	341
営業外費用合計	2,280	1,325
経常利益	6,887	8,205
特別利益		
固定資産売却益	12	13,427
その他	362	677
特別利益合計	374	14,105
特別損失		
賃貸ビル解体費用	470	458
子会社整理損	357	205
その他	388	167
特別損失合計	1,217	831
税金等調整前四半期純利益	6,045	21,479
法人税、住民税及び事業税	2,016	3,882
法人税等調整額	△661	2,649
法人税等合計	1,355	6,531
四半期純利益	4,690	14,947
非支配株主に帰属する四半期純利益	194	184
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,495	14,763

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年 4月 1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	4,690	14,947
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△643	2,559
繰延ヘッジ損益	428	364
為替換算調整勘定	2,302	1,330
退職給付に係る調整額	△123	△144
持分法適用会社に対する持分相当額	515	320
その他の包括利益合計	2,479	4,430
四半期包括利益	7,169	19,378
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,879	19,123
非支配株主に係る四半期包括利益	290	255

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	11,728	27,780	20,843	80,753	5,287	6,396
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,067	2	180	179	—	41
計	13,796	27,783	21,023	80,933	5,287	6,437
セグメント利益又は損失 (△)	363	2,019	1,112	1,164	430	414

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,581	154,371	2,583	156,954	—	156,954
セグメント間の 内部売上高又は振替高	9	2,480	1,375	3,855	△3,855	—
計	1,590	156,852	3,958	160,810	△3,855	156,954
セグメント利益又は損失 (△)	707	6,212	△101	6,110	△60	6,050

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△60百万円には、セグメント間取引消去25百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△85百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日 至2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	10,015	29,995	20,985	64,501	5,259	6,858
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,094	4	278	184	—	42
計	12,110	29,999	21,264	64,685	5,259	6,900
セグメント利益又は損失 (△)	△286	3,258	962	1,845	264	505

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	1,376	138,991	3,043	142,034	—	142,034
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7	2,612	1,446	4,058	△4,058	—
計	1,383	141,603	4,490	146,093	△4,058	142,034
セグメント利益又は損失 (△)	355	6,905	△177	6,728	△59	6,668

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金属粉体事業、鋳物事業、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△59百万円には、セグメント間取引消去24百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△83百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2024年3月期 第3四半期決算短信 補足資料

2024年2月9日  
古河機械金属株式会社

## 【売上高】

(単位：百万円 単位未満切捨て)

	2023年3月期 第3四半期 累計期間	2024年3月期 第3四半期 累計期間	対前年同期増減
機械事業	60,352	60,995	642
産業機械部門	11,728	10,015	△1,713
ロックドリル部門	27,780	29,995	2,214
ユニック部門	20,843	20,985	141
素材事業	92,437	76,618	△15,818
金属部門	80,753	64,501	△16,252
電子部門	5,287	5,259	△28
化成品部門	6,396	6,858	462
不動産事業	1,581	1,376	△204
その他	2,583	3,043	460
【合計】	156,954	142,034	△14,919

2024年3月期		
前回発表	年度予想	対前年増減
85,600	84,100	2,441
17,900	17,100	△843
38,700	39,100	3,347
29,000	27,900	△61
98,300	99,300	△27,504
81,900	83,500	△27,924
7,300	6,800	△126
9,100	9,000	545
1,900	1,900	△156
4,200	4,000	328
190,000	189,300	△24,890

## 【営業利益】

	2023年3月期 第3四半期 累計期間	2024年3月期 第3四半期 累計期間	対前年同期増減
機械事業	3,495	3,934	439
産業機械部門	363	△286	△650
ロックドリル部門	2,019	3,258	1,239
ユニック部門	1,112	962	△149
素材事業	2,009	2,615	606
金属部門	1,164	1,845	681
電子部門	430	264	△166
化成品部門	414	505	90
不動産事業	707	355	△352
その他	△101	△177	△75
(計)	6,110	6,728	617
調整額	△60	△59	1
【合計】	6,050	6,668	618

2024年3月期		
前回発表	年度予想	対前年増減
6,600	6,100	6
1,000	600	△915
4,100	4,300	1,269
1,500	1,200	△347
2,800	2,700	390
1,700	1,900	623
400	200	△300
700	600	67
500	500	△335
△100	△200	△66
9,800	9,100	△4
△100	△100	△26
9,700	9,000	△31

## 【為替・銅価】

	2023年3月期 第3四半期 累計期間	2024年3月期 第3四半期 累計期間	対前年同期増減
為替 円/\$	136.5	143.3	6.8
銅価 \$/mt	8,425	8,334	△91

2024年3月期		
前回発表	年度予想	対前年増減
143.0	143.7	8.2
8,209	8,326	△225

※参考情報 (以下の数値は参考値です)

## 1. 産業機械部門受注残

産業機械については主に受注生産を行っており、当第3四半期会計期間末における受注残を示すと、次のとおりです。

	2023年3月期 第3四半期 会計期間末	2024年3月期 第3四半期 会計期間末	対前年同期増減
受注残	139億円	167億円	28億円

## 2. 金属部門の金属価格変動影響による損益について

	2023年3月期 第3四半期 累計期間	2024年3月期 第3四半期 累計期間	対前年同期増減
営業利益	11.6億円	18.4億円	6.8億円
内価格影響分	12.2億円	11.6億円	△0.6億円
銅	(2.6億円)	(2.5億円)	(△0.0億円)
金	(8.9億円)	(8.2億円)	(△0.7億円)